

令和6年度 第2回横浜市教科書取扱審議会 会議録

日 時	令和6年6月25日(火) 14時00分から16時00分まで
開催場所	横浜市役所 みなと1・2・3 会議室
出席者	<p>(1) 学識経験のある者(2名) 井上 健、軍司 敦子</p> <p>(2) 児童及び生徒の保護者(4名) 高杉 陽子、倉根 美帆、来本 亜希子、畦本 尚美</p> <p>(3) 校長及び教員(8名) 高橋 美都子、室伏 健治、高須 晴子、定岡 孝治、片山 達矢、 阿部 みゆき、市川 恵、川井 秀行</p> <p>(4) 教育委員会事務局職員(5名) 縫村 徹、長谷川 孝子、伊藤 紘樹、平川 くみ子、本田 邦人</p>
欠席者	橋谷 由紀
開催形態	非公開
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回会議録の確認 2 中学校・義務教育学校後期課程及び南高等学校附属中学校・横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校用教科書の答申様式案について 3 高等学校用教科書、特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級用教科書について <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校用教科書に関する教科書調査員報告書及び教科用図書意見報告書について (2) 特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級用教科書に関する教科書調査員報告書並びに教科用図書意見報告書について 4 高等学校用教科書、特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級用教科書の答申案について <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校用教科書の答申案について (2) 特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級用教科書の答申案について 5 今後の日程について
決定事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 第1回審議会会議録を確定すること。会議録は採択終了後まで非公開とすること。 2 次回審議会において、中学校・義務教育学校後期課程用教科書、南高等学校附属中学校及び横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校用教科書の答申案を幹事が提示すること。 3 次回以降の審議会において、幹事が提示した高等学校用教科書の答申案につ

	<p>いてさらに審議を行い、答申を確定すること。</p> <p>4 次回以降の審議会において、幹事が提示した特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級用教科書の答申案についてさらに審議を行い、答申を確定すること。</p> <p>以上4点について、決定した。</p>
<p>議 事</p>	<p>1 議題1について</p> <p>第1回審議会会議録について、内容の確認を行い、委員の了承を得た。また、会議録は採択終了まで非公開とすることが了承された。</p> <p>(井上会長)</p> <p>第1回は資料等の説明があり、それについて私が少し補足をした発言が多かった。今後は皆さんが発言した要旨が会議録に載るので、確認していただきたい。</p> <p>2 議題2について</p> <p>幹事から中学校・義務教育学校後期課程及び南高等学校附属中学校・横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校用教科書の答申様式案について説明があった。</p> <p>(井上委員)</p> <p>この答申案の様式は前回と同じか。</p> <p>(本田幹事)</p> <p>前回と変わらない。</p> <p>(井上会長)</p> <p>今は空欄になっているが、数学なら数学で、発行者ごとに、文科省の番号順か。</p> <p>(本田幹事)</p> <p>文科省の教科書目録順としている。</p> <p>(井上会長)</p> <p>観点1の①～③ 観点2の①～⑥、観点6の①～②までのそれぞれの観点ごとに教科書の特徴を整理して、まとめたものを、教育委員会に提出するということ。今は、この様式でいいかということを確認されている。</p>

現在、調査員が調査したものを基に幹事が答申案を作成中で、次回、皆さんにその内容を確認していただく。

3 議題 3 (1)について

高等学校用教科書に関する教科書調査員報告書及び教科用図書意見報告書について説明があった。

(井上会長)

1 ページ目にあるのが、教科書調査員の方たちが教科ごとに教科書の特徴等を調べた結果をこの様式で提出するという。2～3 ページにあるのは、学校が、こういう学校であり、こういった目標があるため、こういう教科書を使いたいという報告書で、校長名で提出する。4 ページは、上にあるのが学校から出された報告書、下にあるのが調査員から出された報告書、2つ並べて整理された資料、ということによいか。

(宮田幹事)

4 ページ目以降は後ほど説明する。

4 議題 3 (2)について

幹事から、特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級用教科書に関する教科書調査員報告書及び教科用図書意見報告書について説明があった。

(川井委員)

形式の話からは外れるが、中学校で新しい職業・家庭の星印本があるが、それを意見報告で出した学校はあったか。

(外山幹事)

文科省から図書が届いたのは意見報告が始まってからだったが、数校ある。

(川井委員)

文科省が星印本の教科を増やしてきたということは、特支校であっても能力を確実に身に付けるということを具体的に分かりやすく表していると思った。

星印本の採用について、教育委員会として学校にどのような発信を考えているか。

(外山幹事)

学校訪問や研修などを通じて周知していきたい。星印本を使用した学校の事例も取り上げたい。

(井上会長)

特支や個別級は実態に合わせた多岐にわたる種類の教科書があるということ。なかなか知られていない星印本や一般図書の事例について、丁寧な意見報告があるということを理解いただければと思う。

5 議題4(1)について

幹事から高等学校用教科書の答申案について説明があった。

(阿部委員)

毎年教科書の改定が行われるということだが、来年度に向けて何かあるか。

(小出幹事)

新たに発行される教科書が毎年あるかということか。

(阿部委員)

それも含めて、内容の改訂は毎年行われているか、ということ。今年度と来年度で大きく変わっているかということ。

(小出幹事)

改定の時期は1回目の審議会の時に検定・採択・改定のサイクルをお示ししたがそれに従っている。

高校は令和4年度の1年生から新学習指導要領に基づき、全く新しい教科書になった。

今回は新たなものは1冊だけである。時折、新たに検定を通った教科書が目録に入っていることはあるが、今回は大きな変更はないという認識。

(井上会長)

中学や高校の教科書の選び方、答申の仕方は異なっているが、高校は各高校別になっている。

金沢高校は、44冊の教科書を使い、ここの表になっているものが審議会での答申となるが、各学校からの意見報告書に学校紹介、こういうことを目指したい、こういうことを学びたいということが記載されている。一方、調査員は

沢山の教科書を調べて、その調査結果が学校からの意見報告書とマッチしていて適切であろうという観点から、その教科書の番号がこの表に載っているということによいか。

(宮田幹事)

そのとおり。

(井上会長)

その資料が答申には出ないが、答申に載った教科書が結果として相応しくなかったという例はなかったと理解してよいか。

(宮田幹事)

そのとおり。

(井上会長)

この資料は採択が終わった後、公開されるのか。

(宮田幹事)

市民情報センターで見ることができる。

(井上会長)

一つの高校で44冊、その次の高校で47冊あり、今のような手続きによって行われ、確かめようとするれば確かめられるということ。高校で使いたいといっている教科書に合った教科書であると事務局で確認したうえでこの答申案ができていているという理解でよろしいか。

(宮田幹事)

そのとおり。

6 議題4(2)について

幹事から特別支援学校及び小・中・義務教育学校個別支援学級用教科書の答申案について説明があった。

(井上会長)

先ほど高校の説明でもあったとおり、特別支援学校・個別支援学級でも、各学校から意見報告書が提出され、それとは別に調査員が教科書を調査し、その

	<p>2つを合わせたときに、各学校が求めている教科書にマッチするということが答申案が作成されている。</p> <p>今、例に挙げた川島小学校の場合でも、児童が模倣できるようになってきたため、イラストを見てまねて、手遊び歌や楽器を演奏し、模倣していくという狙いがあるので、そういうイラストが載っている教科書がいいと報告されている。</p> <p>調査員の報告書でも、このイラストが有効に活用されているということが報告されているのだと思う。できれば、この審議会の場合でも、どういうイラストが出ていて、確かにその教科書が目的に適しているということが見られるとありがたい。もし間に合えば、次回の時に資料を用意していただきたい。</p> <p>(外山幹事)</p> <p>今、説明した音楽の星印本星一つはこちらで、大きなイラストが沢山ある。市ヶ尾中学校で説明した自然理科もこちらに見本本があるので、ご覧いただきたい。(全委員が閲覧)</p> <p>7 議題5について</p> <p>幹事から次回の審議会開催日程について提案があり、令和6年7月9日(火)に、時間を予定から30分繰り上げて13時30分から開催することが了承された。</p>
<p>資 料 特記事項</p>	<p>1 資料</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和6年度第2回横浜市教科書取扱審議会次第 (2) 令和6年度第1回横浜市教科書取扱審議会会議録 (3) 横浜市教科書取扱審議会委員名簿 (4) 令和6年度横浜市教科書採択の基本方針 (5) 諮問文(写し) (6) 横浜市教科書取扱審議会条例 (7) 令和6年度教科書採択スケジュール(案) (8) 令和6年度教科書採択手順 (9) 令和7年度使用教科書の採択事務処理について(文部科学省通知) (10) 小学校用教科書目録(令和7年度使用) (11) 中学校用教科書目録(令和7年度使用) (12) 令和6年度使用 中学校・義務教育学校後期課程、南高等学校附属中学校及び横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校用教科書一覧 (13) 教科用図書調査研究の結果(県教委作成) (14) 中学校答申様式案

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">(15) 高等学校用教科書目録（令和7年度使用）(16) 高等学校教科書調査員報告書(17) 高等学校教科用図書意見報告書(18) 高等学校答申案(19) 特別支援学校用（小・中学部）教科書目録（令和7年度使用）(20)（特支・個別）令和7年度用教科用図書選定参考一覧(21)（特支・個別）教科書調査員報告書(22)（特支・個別）答申案 |
|--|---|

2 特記事項

審議内容及び審議資料については、採択が終了するまでは非公開とする。